

2025 年度 A 日程

福岡大学法科大学院入学者選抜試験

小論文

問題冊子（問題のみで3枚）

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- 3 解答は、別に配布する解答用紙に、黒インクのボールペンまたは万年筆（いずれも、インクが消しゴム等で消せないもの）で記述し、これ以外で記述した場合には無効となります。
- 4 解答用紙上部の受験番号欄に受験番号を、また氏名欄に氏名（およびフリガナ）を記入してください。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

以下の抜粋（本文）を読んで、各設問に答えなさい。

（本文及び設問2の見解は、いずれもデヴィッド・ライアン著、田畑暁生訳『監視文化の誕生』（青土社、2019年））

設問1

（1）「監視社会」について、かつては、どのような主体（機関）が監視手段を持つことが想定されていたか。

（2）筆者は、今日の「監視世界」で起きている事柄について「国家監視」や「監視社会」といったフレーズで捉えられない部分が多いとするが、どのような部分が捉えられないと考えているのか。

設問2 「テクノロジーの発展による監視手段の民主化によって、一般市民は、単なる監視の対象から、監視を行う主体としての地位を獲得した。」という意見について、本文の見解及び以下の見解を参考にしながら、批判的に論じなさい。

（見解は省略）

以上